

平成 28 年度

事 業 報 告 書

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

学校法人 聖和学園

1 法人の概要

(1) 建学の精神

本学園は一宗一派によらない仏教を教育の理念とし、宗教的情操の涵養に重きをおき、知育、体育、徳育の養成に努めることを教育の方針としている。宗教の授業や仏教行事を通し、釈尊の教えを心の糧として人格の陶冶と勉学に励むことを目的とする学園である。

本学園は、昭和5年宮城県仏教会の仏教精神による高等女学校設立の発願により、仏教的情操教育を建学の精神とし、開校以来80有余年の伝統と歴史をもつ女子教育機関として、その社会的使命を果たしてきた。しかしながら、時代の趨勢を考慮し、平成15年度から男女共学化を実施した。現在は幼稚園、高等学校、短期大学を擁し、一貫教育を目指している。

(2) 学校法人の沿革

昭和4年(1929年)

4月 宮城県仏教会発足、仏教精神による高等女学校設立を計画

9月 学校設立基金として吉田つぎ女史の篤志寄付を受ける

昭和5年(1930年)

3月 伊澤平左衛門を設立者として、高等女学校令により開校認可
校名「吉田高等女学校」、校長 木村匡、総定員400名

昭和11年(1936年)

3月 「財団法人吉田高等女学校」となる(初代理事長 伊澤平馬)

昭和14年(1939年)

4月 「吉田専修女学園」設置(修業年限1年)

昭和19年(1944年)

3月 「吉田専修女学園」廃止

昭和23年(1948年)

4月 「聖和学園」と改称。「吉田高等学校」、「吉田中学校」併設

昭和26年(1951年)

2月 「学校法人聖和学園」設置

4月 「聖和学園短期大学」開設(国文科、被服科)

昭和29年(1954年)

4月 「聖和幼稚園」開設

昭和38年(1963年)

4月 短期大学に保育科開設

昭和46年(1971年)

4月 法人本部事務局設置

昭和54年(1979年)

3月 「吉田中学校」廃校

昭和61年(1986年)

4月 「吉田高等学校」を「聖和学園高等学校」に校名変更

昭和63年(1988年)

4月 「聖和学園短期大学」移転(仙台市南中山5丁目5-2)

平成5年(1993年)

4月 短期大学「被服科」を「生活文化科」へ学科名変更

平成11年(1999年)

7月 短期大学の定員250名認可

平成15年(2003年)

4月 短期大学「国文科」の募集を停止し、「人間コミュニケーション学科」設置
高等学校を男女共学化し、「薬師堂キャンパス」新築移転、「三神峯キャンパス」設置

平成17年(2005年)

4月 短期大学「人間コミュニケーション学科」、「生活文化科」の募集を停止し、
「キャリア開発総合学科」設置

平成19年(2007年)

4月 短期大学の「保育科」の募集を停止し、「保育福祉学科」設置

平成28年(2016年)

4月 短期大学の「保育福祉学科」の募集を停止し、「保育学科」設置

(3) 設置する学校の内容

(平成 28 年 5 月 1 日現在)

学校名 (所在地)	学部・学科等名	開設 年度	入学 定員 (a) 人	志願者 数 人	合格者 数 人	入学者 数 (b) 人	(b)/(a) %	収 容 定 員 (c) 人	現員 (d) 人	(d)/(c) %
聖和学園短期大学 (仙台市泉区南中山 5 丁目 5-2)	キャリア開発総合学科	(H17)	(130)					130	143	110.0
	キャリア開発総合学科	(H28)	160	161	160	155	96.9	160	155	96.9
	保育福祉学科	(H19)	(120)					120	126	105.0
	保育学科	(H28)	90	253	108	107	118.9	90	107	118.9
	短期大学 (計)		250	414	268	262	104.8	500	531	106.2
聖和学園高等学校 薬師堂キャンパス (仙台市若林区木ノ下 3 丁目 4-1) 三神峯キャンパス (仙台市太白区土手内 2 丁目 1-1)	全日制普通課程 (薬師堂キャンパス)	(H15)	390	2,509	2,287	449	115.1	1,170	1,405	120.1
	(三神峯キャンパス)	(H15)	190	769	795	198	104.2	570	555	97.4
	高等学校 (計)	S23	580	3,278	3,082	647	111.6	1,740	1,960	112.6
聖和幼稚園 (仙台市若林区木ノ下 4 丁目 3-14)		S29	100	85	85	79	79.0	300	245	81.6

(参考) 平成 29 年度の状況

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

学校名 (所在地)	学部・学科等名	開設 年度	入学 定員(a) 人	志願者 数 人	合格者 数 人	入学者 数(b) 人	(b)/(a) %	収 容 定 員 (c) 人	現員(d) 人	(d)/(c) %
聖和学園短期大学 (仙台市泉区南中山 5 丁目 5-2)	キャリア開発総合学科	(H28)	160	191	191	187	116.9	320	341	106.6
	保育学科	(H28)	90	219	112	107	118.9	180	211	117.2
	短期大学(計)		250	410	303	294	117.6	500	552	110.4
聖和学園高等学校 薬師堂キャンパス (仙台市若林区木ノ下 3 丁目 4-1) 三神峯キャンパス (仙台市太白区土手内 2 丁目 1-1)	全日制普通課程 (薬師堂キャンパス)	(H15)	390	2,463	2,295	429	110.0	1,170	1,337	114.3
	(三神峯キャンパス)	(H15)	190	756	719	187	98.4	570	547	96.0
	高等学校(計)	S23	580	3,219	3,014	616	106.2	1,740	1,884	108.3
聖和幼稚園 (仙台市若林区木ノ下 4 丁目 3-14)		S29	100	88	88	82	82.0	300	246	82.0

(4) 役員概要

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

① 理事

定員数 (10～13 名) 現員 (12 名)

区 分	氏 名	勤務区分	現 職	住 所
理 事 長	スズキ シゲオ 鈴木 繁雄	非常勤	会社役員	仙台市
常務理事	チバ ノブヒロ 千葉 信博	常 勤	学校法人監事	仙台市
理 事	ナルミ ワタル 鳴海 涉	常 勤	短期大学学長	仙台市
理 事	トイ シュウイチ 戸井 秀一	常 勤	高等学校校長	仙台市
理 事	ナガヤマ ノブキ 永山 伸樹	常 勤	幼稚園園長	仙台市
理 事	カマタ ブンケイ 鎌田 文恵	非常勤	学園長	仙台市
理 事	アカイザワ タカコ 赤井澤 孝子	非常勤	会社役員	仙台市
理 事	イノマタ ジュンイチ 猪又 淳一	常 勤	法人事務局長	仙台市
理 事	キムラ アキヨ 木村 昭代	常 勤	短期大学副学長	仙台市
理 事	コンノ アツシ 今野 敦之	非常勤	会社役員	仙台市
理 事	アベ カンクロウ 阿部 勘九郎	非常勤	会社役員	塩釜市
理 事	ヤマダ ムネモト 山田 宗基	非常勤	会社役員	仙台市

② 監事

定員数 (3 名) 現員 (3 名)

区 分	氏 名	勤務区分	現 職	住 所
監 事	イヌカイ ヤスハル 犬飼 泰治	非常勤	会社役員	仙台市
監 事	ショウジ シンイチ 庄司 伸一	非常勤	団体役員	仙台市
監 事	ヒライ トシユキ 平井 俊之	非常勤	なし	仙台市

(5) 評議員の概要

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

定員数 (21 名～39 名) 現員 (27 名)

氏 名	主な現職等	氏 名	主な現職等
鈴木 繁雄	理事長	三浦 亮	高等学校副校長
千葉 信博	常務理事	佐々木 弘	高等学校事務長
鳴海 渉	理事	本田 勝博	団体職員
戸井 秀一	理事	小岩 透	会社員
永山 伸樹	理事	高城 弘子	なし
鎌田 文恵	理事	吉田 恵	団体役員
猪又 淳一	理事	柏又 栄子	なし
木村 昭代	理事	金山 富彦	宗教法人役員
赤井澤 孝子	理事(会社役員)	真田 昌行	弁護士
今野 敦之	理事(会社役員)	大宮司 慎一	学校法人職員
阿部 勘九郎	理事(会社役員)	高橋 誠也	弁護士
山田 宗基	理事(会社役員)	星 尚文	宗教法人役員
松村 万里子	短期大学教授	鎌田 智裕	学校法人役員
宮東 幸七	短期大学事務部長		

(6) 教職員の概要

(平成 28 年 5 月 1 日現在)

部 門	区 分	教 員	職 員	合 計
法人事務局	本 務	0	7	7
	非常勤・兼務	0	0	0
	計	0	7	7
短期大学	本 務	25	15	40
	非常勤・兼務	117	1	118
	計	142	16	158
高等学校	本 務	111	11	122
	非常勤・兼務	43	8	51
	計	154	19	173
幼稚園	本 務	12	1	13
	非常勤・兼務	5	4	9
	計	17	5	22
合 計	本 務	148	34	182
	非常勤・兼務	165	13	178
	計	313	47	360

2 事業の概要

本学園は、平成 18 年度より第一次長期経営計画（平成 18 年度～20 年度）、第二次長期経営計画（平成 21 年度～23 年度）、第三次長期経営計画（平成 24 年度～26 年度）を策定し、その計画の推進を図ってきた。

平成 28 年度は、平成 27 年度を初年度としてスタートした第四次長期経営『Step!』～未来を見据え着実な前進を～（平成 27 年度～30 年度）の 2 年度目を迎え、基本方針である「選ばれる学校を目指した『教育・研究の質（教職員の資質向上・教育施設の充実等）』の向上」および「安定した『経営基盤（学生・生徒数の確保・財務の健全性維持）』の確立」による「地域の中核校としての存在感の発揮」に向け短期大学、高等学校、幼稚園、法人事務局の各部門において経営計画に基づく施策を積極的に推進した。

合わせて、少子高齢化の進展、社会格差の拡大、グローバル化・高度情報化の進展等の経営環境の変化や家庭と教育機関の役割の変化、若年層の意識の変化、さらには学校教育法、私立学校法等の法律改正など、学校経営を取り巻く環境の変化に対応するため、S（Solution）課題を一つ一つ解決し、T（Tactics）戦略をもって、E（Evolution）絶えず進化・発展に挑戦する、P（Pleasure）学生・生徒と教職員が互いに成長の喜びを分かち合える学校、を目指し将来を見据えた施策を実行した。

(1) 学校法人聖和学園

①組織の管理・運営

A. 人事諸制度の改正

高齢化の進展、子育て世代への支援強化等の社会情勢の変化のなか、時代の要請を踏まえて、給与規程、福利厚生関連規程等の人事諸制度の見直しを実施。

初任給の改定、新基本給料（本俸）規程の制定、人事評価制度の導入、扶養手当の改正、学納金減免規程の改正、部活動指導手当の新設、人間ドッグ利用費補助金規程の新設を行った。

B. 諸規程の整備

「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の改正に対応し対象となる子の対象範囲の拡大等の就業規則の改正を行ったほか、「男女雇用機会均等法」の改正に対応し、就業規則にマタニティハラスメントを禁止する条項を追加した。

そのほか諸規程の新設、改廃を行い組織体制の整備を行った。

C. 仏教にかかわる教育・行事等を実施・統轄する学園長の配置

平成 28 年 2 月の理事会で決議し所管官庁の承認を受け変更した寄附行為に基づき、仏教精神を教育理念とした教育目的を具現化するため、僧籍を有する鎌田文恵氏が 4 月から学園長に就任。

②内部統制の強化

A. 内部監査室による監査の実施

平成 26 年 4 月 1 日付で理事長直轄の独立した組織として内部監査室を設置し、各部門が法令および各種規程等に沿った業務運営がなされているか検証を行った。

B. 監事監査の実施

本学園の監事 3 名が本学園各部門の業務監査ならびに会計監査を実施。

理事会・評議員会をはじめとした各種会議への出席のほか、各種帳票等の閲覧、会計監査人との意見交換等を通じ、各部門の業務運営の適切性を検証している。

③広報活動の充実

- ・仙台市地下鉄東西線薬師堂駅の副駅名を「聖和学園前」とし、駅名のアナウンス、案内板への表示等により地下鉄利用者に対する広報を継続実施したほか、JR長町駅に三神峯キャンパス紹介のパネルを設置し広報活動の拡充を図った。

(2) 聖和学園短期大学

① 3 つの方針、教育目標、学修成果の見直し

- ・「3 つの方針（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）の策定及び運用に関するガイドライン」（中央教育審議会答申）に対応し、ポリシー間の一貫性の確保、教育内容・評価項目等についてステークホルダーが理解し易い表現への改定、入学者に求める学力の 3 要素の明確化等を実施した。

②教育活動

A. 学科の改組

28 年 4 月に保育者養成の充実・強化を図るため保育福祉学科を保育学科に改組するとともに、キャリア開発総合学科に介護福祉士養成課程を編入する学科の改組を実施した。

B. 学長裁量経費の活用

本学の建学の精神に基づく教育研究の活性化や学長のリーダーシップの一層の高揚を図るため、各学科の申請に基づき学長が事業内容を判断し実施する学長裁量経費制度を開始し、その活用を図った。

C. 教員表彰制度の導入

学生の授業評価結果に基づき教員を表彰する教員表彰制度を導入し、教育の質の向上を図った。

D. 「保育士資格取得特例講座」の継続実施

昨年度に引き続き幼稚園教諭免許のみを有する資格保有者を対象に、保育士資格の取得を目的とした「保育士資格取得特例講座」を開講した。（7 月～8 月開催）

③学生支援

A. 修学支援制度の拡充

「聖和学園修学支援制度」に基づき、東日本大震災により被災した学生や、経済的理由により修学が困難な学生に対し、入学金、検定料や授業料の免除等を継続して実施したほか、新たに製菓衛生師および介護福祉士養成課程の受験者を対象に検定料の半額を補助した。

また、県の保育士修学支援貸付制度の斡旋を行ったほか、所定の資格を取得した学生に対し、資格取得奨励金を支給するなど修学支援を拡充した。

B. 進路支援の充実

教職員一体となった学生の進路支援を行った結果、平成 28 年度の進路決定率は全体で 98% となり極めて高い水準となった。特に保育専攻では 13 年連続して 100% の進路決定率となった。

進路先では公務員、金融関係への就職のほか地元優良企業、社会福祉施設等への正職員としての就職が目立った。求人もサービス・営業関連、保育関連が増加したほか、特に県内からの求人が増加した。公務員合格者も高い水準を維持した。

C. カリキュラムの充実

地(知)の拠点大学による地域創生推進事業(COC+)である「みやぎ・せんだい協働教育基盤による地域高度人材の育成」事業に参加し、地域、産業界、自治体、大学と協働で地域高度人材の育成と地域の課題発見・解決に取り組んだほか、教育目標の一つである「職業及び実生活に必要な能力育成」を実践し、宮城県におけるコミュニティカレッジとしての役割を果たした。

また登米市の補助金制度を活用した地域企業と協働による製菓の商品開発、販路開拓等のアクティブラーニングに取り組んだ。

D. オープンキャンパス等の開催

オープンキャンパスを3回開催したほか、学科毎にウエルカムキャンパスを開催し、高校生や保護者に対しパンフレットだけではわからない短期大学の雰囲気や実際のキャンパスライフについて積極的に発信した。

⑤地域への貢献・地域との連携

A. 地域行事等への参加

将監さくらまつり(4月)、新緑祭(4月)、泉環境祭(5月)、みやぎ夢燈花(9月)、泉ヶ岳悠・遊フェスティバル(9月)、将監地区「ふれあい健康まつり」(10月)、仙台光のページェント(12月)など各種地域行事にすずめ踊りやハンドベル、YOSAKOIチームが参加するなど、積極的な活動を行った。

B. 地域との連携

いずみ絆プロジェクトへの参画(YOSAKOI、介護専攻ボランティア活動)により地域との連携を強化するとともに、「聖和総合教育」の一環として本学周辺の清掃活動を実施した。

(3) 聖和学園高等学校(薬師堂キャンパス、三神峯キャンパス)

①教育活動

A. ICT(情報通信技術)による教育活動の推進

ICT教育活動の一環として、生徒の学習支援を目的とした「聖和ポータルサイト」の活用に取り組んだ。夏期等の長期休業中の学習支援として聖和ポータルサイト内の聖和ドリルを活用したほか、授業動画を数多く掲載し学習意欲や学力向上、特に基礎学力の定着、学び直しの機会の提供等において活用を図った。

B. 国際交流の積極的推進

アメリカメイン州のホールデール高校(Hall-Dale High School)との姉妹校提携に基づきホールデール高校の教員との交流を図ったほか、国際ロータリークラブの青年短期留学研修旅行への生徒参加などをおして相互コミュニケーションや多様な価値観に触れる機会を確保し、学校教育を通じた国際的視野の涵養や異文化理解促進を図った。

C. 心の教育の充実

多数の生徒参加のもと松島町の瑞巖寺専門道場において「松島禅の集い」を開催し、修道体験をおして建学の精神である仏教の教えを学んだほか、両キャンパス近隣の寺院を訪問し住職から法話をいただく「聖和こころの研修」を実施し、仏教精神体得、心の教育の充実を図った。

また、心の教育に関する外部専門家を講師とした講演会を開催し、心の教育の一層の充実を図った。

D. 課外活動への取り組み

学習活動以外の課外活動にも積極的に取り組み、各種スポーツで顕著な成績をあげた。

主な部活動実績（平成 28 年度 県大会準優勝以上）

部活動名	結 果
バスケットボール （女子）	宮城県高校バスケットボール選手権 優勝 東北高校男女新人バスケット選手権大会 優勝
ハンドボール （女子）	宮城県高校総体 優勝 東北高校ハンドボール選抜大会 準優勝
サッカー（男子）	東北高校選手権大会 優勝 全日本高校サッカー選手権大会宮城県大会 優勝
サッカー（女子）	東北地区女子サッカー選手権大会 優勝 全日本高校女子サッカー選手権大会東北地域大会 準優勝 東北高校新人サッカー選手権大会 優勝
新 体 操	宮城県高校新体操新人大会 優勝
弓 道（女子）	宮城県高校新人大会 優勝
卓 球（女子）	東北高校選抜卓球大会 優勝 宮城県高校総体 優勝 宮城県高校総体 女子ダブルス・シングルス 優勝 宮城県高校新人大会 優勝 宮城県高校新人大会 女子ダブルス・シングルス 優勝
卓 球（男子）	宮城県高校総体 優勝
空 手 道	東北高校選抜大会 団体組手 優勝
ソフトテニス	ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップ 個人準優勝
硬 式 テ ニ ス	宮城県高校総体 優勝
チアリーディング	東北チアリーディング選手権大会 優勝
陸 上 競 技 部	宮城県高校新人大会 女子 800m 優勝
ゴ ル フ	東北高校ゴルフ選手権大会 個人準優勝

②進路指導および実績

A. 3年間を見据えた進路指導の実施

薬師堂・三神峯両キャンパスともに、高校生活3年間を見据えた進路指導を実施した。ホームルームや総合の時間を利用し、進路ガイダンスを行うとともに、インターシシップや職場見学、看護体験など体験型の進路学習を取入れ、職業理解を通じて生徒が将来の目標をより明確にできるような指導を行った。

B. 進学実績

平成28年度卒業生の進路は以下のとおりとなっている。

薬師堂キャンパス・・・国公立大学4名、私立大学142名、短期大学53名

三神峯キャンパス・・・国公立大学3名、私立大学96名、短期大学13名

③生徒募集

A. 県内中学校との連携強化

各教員に担当中学校を割り振り、中学校訪問を実施した。

また、中学校での進路説明会や進路講演会への講師派遣を行ったほか、中学生の学校訪問受入れ等、積極的な募集活動を実施した。

B. オープンキャンパスの開催

中学生や保護者への情報提供機会の強化を目的にオープンキャンパスの開催回数を増やしたほか、オープンキャンパスに合わせてサッカー部の練習会を開催する等により、多くの中学生に進路に関する情報提供を行った。

④施設整備

A. 総合運動場の取得

名取市に野球場を主とした総合運動場を整備し、課外活動の支援を強化した。

B. 三神峯キャンパスの校舎整備

三神峯キャンパス校舎の空調設備を整備し、生徒の学習環境の向上を図った。

(4) 聖和幼稚園

①園児数確保に向けた取組み

A. 預かり保育の実施

早朝保育(7時30分～8時30分)や延長保育(～18時)の実施により、仕事を持つ保護者家庭の支援に積極的に行った。

B. 未就園児へのアプローチ

子育て支援事業として、「すくすくくらぶ」や「すくすく広場」を継続開催したほか、公開保育や運動会等の行事に未就園児を招待した。「すくすくくらぶ」「すくすくひろば」の在籍者125名のうち32名(昨年度25名)が平成29年度に入園申込みを行った。

C. 広報体制の充実

ホームページにおいて各種行事や公開保育の情報等についてタイムリーに情報発信を行うとともに、写真等を数多く掲載し、園の活動の様子をより具体的に理解できるよう取組んだ。

②教育活動

A. 仏教保育の充実

仏教三大行事(花まつり・成道会・涅槃会)や勤行、日常の園活動等を通した中で、仏教精神の教育を継続して実施した。

また、幼稚園のホームページ内の「園長だより」で仏教保育についての情報を積極的に発信した。

B. 英語教室の実施

英語教育のニーズの高まりに対応して平成20年から継続実施している英語教室を一層充実し、平成28年度は年長児10回、年中児10回、年少児5回実施した。

C. 園外保育

園外保育の一環として、聖和高等学校内に設置したちびっこ農園でのさつまいもの栽培や陸奥国分寺薬師堂へのお花見、遠足等を行い、団体行動や自然とのふれあいを通じ、収穫のよろこびや公共のマナーの学習に取組んだ。

D. お泊まり保育の実施

年長児を対象に聖和短大の施設においてお泊り保育を実施し、親元を離れての協働生活体験をとおして自立心の養成に取組んだ。

E. 聖和短大、聖和高等学校との連携

成道会発表会での聖和高等学校との連携や聖和短大生の実習受入れ等により聖和学園全体としての教育レベルの向上を図った。

F. 施設整備

園児の生物に対する意識を高めことを目的に園児の興味関心を集めるビオトープを設置し情操教育の涵養に努めた。

③地域との連携

・ 地域との連携

地域住民の皆様の協力により、園行事(夏祭り、バザー、ポスター掲示など)を行った。

3 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況

(資産の部)

(単位:円)

科目		本年度末	前年度末	増 減
資産	固定資産	11,323,393,824	11,419,437,190	△ 96,043,366
	有形固定資産	9,437,405,522	9,534,489,356	△ 97,083,834
	土地	4,109,173,404	4,109,173,404	0
	建物	4,505,949,729	4,548,484,186	△ 42,534,457
	その他の有形固定資産	822,282,389	876,831,766	△ 54,549,377
	特定資産	1,882,444,618	1,882,444,618	0
	退職給与引当特定資産	133,511,089	137,961,953	△ 4,450,864
	減価償却引当特定資産	1,246,953,221	1,246,953,221	0
	施設設備引当特定資産	501,980,308	497,529,444	4,450,864
	その他の固定資産	3,543,684	2,503,216	1,040,468
	流動資産	1,889,207,508	1,442,745,311	446,462,197
	現金預金	1,721,128,769	1,283,686,365	437,442,404
	その他の流動資産	168,078,739	159,058,946	9,019,793
合計	13,212,601,332	12,862,182,501	350,418,831	

(負債の部・純資産の部)

(単位:円)

科目		本年度末	前年度末	増 減
負債	固定負債	1,047,601,089	956,491,953	91,109,136
	長期借入金	914,090,000	818,530,000	95,560,000
	退職給与引当金	133,511,089	137,961,953	△ 4,450,864
	流動負債	828,987,711	764,978,060	64,009,651
	短期借入金	204,440,000	144,440,000	60,000,000
	その他の流動負債	624,547,711	620,538,060	4,009,651
合計	1,876,588,800	1,721,470,013	155,118,787	
基本 金	第1号基本金	13,450,187,659	13,322,469,365	127,718,294
	第4号基本金	169,000,000	169,000,000	0
	合計	13,619,187,659	13,491,469,365	127,718,294
繰越収 支差額	翌年度繰越収支差額	△ 2,283,175,127	△ 2,350,756,877	67,581,750
	合計	△ 2,283,175,127	△ 2,350,756,877	67,581,750
純資産の部合計		11,336,012,532	11,140,712,488	195,300,044
負債の部・純資産の部合計		13,212,601,332	12,862,182,501	350,418,831

貸借対照表の概要

平成28年度末の本学校法人の総資産額は132億円となり、前年比3億50百万円の増加となった。

固定資産は、校舎空調設備改修工事等による増加(1億55百万円)と除却等の減少額(9百万円)および当年度減価償却額による減少(2億42百万円)との差異(96百万円)が減少した。また、名取総合運動場の取得に先行し借入金(3億円)が発生したことなどから、流動資産では現金預金が前年比4億46百万円の増加となった。

②収支計算書の状況

ア.資金収支計算書

(資金収入の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,667,853,000	1,680,523,930	△ 12,670,930
手数料収入	46,379,000	45,655,900	723,100
寄付金収入	3,720,000	4,024,005	△ 304,005
補助金収入	783,235,000	783,938,892	△ 703,892
国庫補助金収入	106,398,000	106,404,000	△ 6,000
地方公共団体補助金収入	676,837,000	677,534,892	△ 697,892
資産売却収入	57,000	56,148	852
付随事業・収益事業収入	95,265,000	89,981,108	5,283,892
受取利息・配当金収入	3,011,000	2,947,751	63,249
雑収入	134,488,000	140,340,159	△ 5,852,159
借入金等収入	300,000,000	300,000,000	0
前受金収入	339,190,000	330,273,864	8,916,136
その他の収入	1,238,513,000	1,452,829,697	△ 214,316,697
資金収入調整勘定	△ 442,021,000	△ 447,375,789	5,354,789
前年度繰越支払資金	1,283,686,365	1,283,686,365	0
資金収入の部合計	5,453,376,365	5,666,882,030	△ 213,505,665

(資金支出の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,570,396,000	1,557,932,417	12,463,583
教育研究経費支出	507,332,000	476,245,165	31,086,835
管理経費支出	298,160,000	266,478,230	31,681,770
借入金等利息支出	12,469,000	12,468,190	810
借入金等返済支出	144,440,000	144,440,000	0
施設関係支出	116,535,000	115,227,144	1,307,856
設備関係支出	38,965,000	31,713,959	7,251,041
資産運用支出	35,670,000	36,019,764	△ 349,764
その他支出	1,287,054,000	1,474,934,072	△ 187,880,072
(予備費)	(50,000,000)		
	0		0
資金支出調整勘定	△ 186,154,000	△ 169,705,680	△ 16,448,320
翌年度繰越支払資金	1,628,509,365	1,721,128,769	△ 92,619,404
資金支出の部合計	5,453,376,365	5,666,882,030	△ 213,505,665

資金収支計算書の概要

本年度の資金収支における実収入額(収入の部合計から前年度繰越支払資金を減じた額)は、43億83百万円で予算比2億14百万円の増加となった。学生生徒納付金等の主要科目は、予算を若干上回った程度であったが、借入金(3億円)の実行やその他の収入において預り金会計を学校会計に繰入れたことなどが増加の要因となった。

一方、実支出額(支出の部合計から翌年度繰越支払資金を減じた額)は、39億46百万円で予算を超過したが、人件費や教育研究経費支出、管理経費支出等の主要科目では予算額以下の執行となった。

実収入と実支出の差異は、4億37百万円の収入超過となり、翌年度繰越支払資金は、27年度末の12億83百万円から増加し17億21百万円となった。

イ.活動区分資金収支計算書

(単位:円)

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,680,523,930
		手数料収入	45,655,900
		特別寄付金収入	2,664,005
		一般寄付金収入	1,360,000
		經常費等補助金収入	781,040,892
		付随事業収入	89,981,108
		雑収入	140,140,285
		教育活動資金収入計	2,741,366,120
	支出	人件費支出	1,557,932,417
		教育研究経費支出	476,245,165
管理経費支出		266,162,280	
教育活動資金支出計		2,300,339,862	
	差引	441,026,258	
	調整勘定等	12,008,470	
	教育活動資金収支差額	453,034,728	
施設整備等活動等による資金収支	科 目		金 額
	収入	施設設備補助金収入	2,898,000
		施設整備等活動資金収入計	2,898,000
	支出	施設関係支出	115,227,144
		設備関係支出	31,713,959
		施設設備引当特定資産繰入支出	4,450,864
		施設整備等活動資金支出計	151,391,967
		差引	△ 148,493,967
		調整勘定等	△ 1,499,784
		施設整備等活動資金収支差額	△ 149,993,751
	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	303,040,977	

		科 目	金 額
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	300,000,000
		有価証券売却収入	56,148
		退職給与引当特定資産取崩収入	4,450,864
		修学旅行費預り資産からの繰入収入	35,147,979
		預り金受入収入	1,190,110,208
		仮払金回収収入	3,761,880
		立替金回収収入	42,868,059
		修学旅行費預り金受入収入	60,140,875
		小計	1,636,536,013
		受取利息・配当金収入	2,947,751
		過年度修正収入	199,874
		その他の活動資金収入計	1,639,683,638
	支出	借入金等返済支出	144,440,000
		差入保証金繰入支出	365,000
		修学旅行費預り資産への繰入支出	31,203,900
		預り金支払支出	1,206,163,713
		立替金支払支出	42,621,424
		仮払金支払支出	3,761,880
		修学旅行費預り金支払支出	63,942,154
		小計	1,492,498,071
借入金等利息支出		12,468,190	
過年度修正支出		315,950	
その他の活動資金支出計		1,505,282,211	
差引		134,401,427	
調整勘定等	0		
その他の活動資金収支差額	134,401,427		
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		437,442,404	
前年度繰越支払資金		1,283,686,365	
翌年度繰越支払資金		1,721,128,769	

活動区分資金収支計算書

本年度の教育活動資金収支差額は4億53百万円であったが、校舎空調設備改修工事等の支出を含む施設整備等活動資金収支差額は▲1億50百万円となり、借入金等収入3億円等を含むその他の活動資金収支差額1億34百万円を含めると、支払資金の増減額は4億37百万円の増加となった。

ウ.事業活動収支計算書

(単位:円)

	科目	予算	決算	差異
	学生生徒等納付金	1,667,853,000	1,680,523,930	△ 12,670,930
	手数料	46,379,000	45,655,900	723,100
	寄付金	4,960,000	7,577,201	△ 2,617,201
	経常費等補助金	780,337,000	781,040,892	△ 703,892
	国庫補助金	103,500,000	103,506,000	△ 6,000
	地方公共団体補助金	676,837,000	677,534,892	△ 697,892
	付随事業収入	95,265,000	89,981,108	5,283,892
	雑収入	134,488,000	142,161,149	△ 7,673,149
	教育活動収入計	2,729,282,000	2,746,940,180	△ 17,658,180
	人件費	1,570,396,000	1,555,502,417	14,893,583
	教育研究経費	726,309,000	695,733,881	30,575,119
	管理経費	321,029,000	289,002,400	32,026,600
	徴収不能額等	362,000	145,242	216,758
	教育活動支出計	2,618,096,000	2,540,383,940	77,712,060
	教育活動収支差額	111,186,000	206,556,240	△ 95,370,240
	受取利息・配当金	3,011,000	2,947,751	63,249
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	3,011,000	2,947,751	63,249
	借入金等利息	13,480,000	12,468,190	1,011,810
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外収入計	13,480,000	12,468,190	1,011,810
	教育活動外収支差額	△ 10,469,000	△ 9,520,439	△ 948,561
	経常収支差額	100,717,000	197,035,801	△ 96,318,801
	資産売却差額	57,000	56,099	901
	その他の特別収入	2,898,000	3,097,874	△ 199,874
	特別収入計	2,955,000	3,153,973	△ 198,973
	資産処分差額	4,857,000	4,573,780	283,220
	その他の特別支出	316,000	315,950	50
	特別支出計	5,173,000	4,889,730	283,270
	特別収支差額	△ 2,218,000	△ 1,735,757	△ 482,243
	(予備費)	(221,000)		
		49,779,000		49,779,000
	基本金組入前当年度収支差額	48,720,000	195,300,044	△ 146,580,044
	基本金組入額合計	△ 136,230,000	△ 127,718,294	△ 8,511,706
	当年度収支差額	△ 87,510,000	67,581,750	△ 155,091,750
	前年度繰越収支差額	△ 2,350,756,877	△ 2,350,756,877	0
	基本金取崩額	0	0	0
	翌年度繰越収支差額	△ 2,438,266,877	△ 2,283,175,127	△ 155,091,750
	(参考)			
	事業活動収入計	2,735,248,000	2,753,041,904	△ 17,793,904
	事業活動支出計	2,686,528,000	2,557,741,860	128,786,140

事業活動収支計算書

経常収支差額は1億97百万円、当年度収支差額は67百万円の収入超過となり、各々予算比96百万円、1億55百万円の増加となった。

学生生徒等納付金や寄付金など教育活動収入が予算額を上回った一方、人件費や教育研究経費、管理経費等の教育活動経費が大きく減少し、基本金組入額が予算比減少したことが収支改善の要因となった。

(2) 経年比較

①貸借対照表

(資産の部)

(単位:円)

科目		26年度	27年度	28年度
資産	固定資産	11,447,307,570	11,419,437,190	11,323,393,824
	有形固定資産	9,563,098,870	9,534,489,356	9,437,405,522
	土地	4,109,173,404	4,109,173,404	4,109,173,404
	建物	4,664,051,089	4,548,484,186	4,505,949,729
	その他の有形固定資産	789,874,377	876,831,766	822,282,389
	特定資産	1,882,444,618	1,882,444,618	1,882,444,618
	退職給与引当特定資産	150,330,933	137,961,953	133,511,089
	減価償却引当特定資産	1,246,953,221	1,246,953,221	1,246,953,221
	施設設備引当特定資産	485,160,464	497,529,444	501,980,308
	その他の固定資産	1,764,082	2,503,216	3,543,684
	流動資産	1,492,491,862	1,442,745,311	1,889,207,508
	現金預金	1,367,750,387	1,283,686,365	1,721,128,769
	その他の流動資産	124,741,475	159,058,946	168,078,739
合計	12,939,799,432	12,862,182,501	13,212,601,332	

(負債の部・純資産の部)

(単位:円)

科目		26年度	27年度	28年度
負債	固定負債	1,113,300,933	956,491,953	1,047,601,089
	長期借入金	962,970,000	818,530,000	914,090,000
	退職給与引当金	150,330,933	137,961,953	133,511,089
	長期未払金	0	0	0
	流動負債	781,717,755	764,978,060	828,987,711
	短期借入金	144,440,000	144,440,000	204,440,000
	その他の流動負債	637,277,755	620,538,060	624,547,711
合計	1,895,018,688	1,721,470,013	1,876,588,800	
基本金	第1号基本金	13,104,049,530	13,322,469,365	13,450,187,659
	第4号基本金	169,000,000	169,000,000	169,000,000
	合計	13,273,049,530	13,491,469,365	13,619,187,659
繰越収支差額	翌年度繰越消費収支差額	△ 2,228,268,786	△ 2,350,756,877	△ 2,283,175,127
	合計	△ 2,228,268,786	△ 2,350,756,877	△ 2,283,175,127
純資産の部合計		11,044,780,744	11,140,712,488	11,336,012,532
負債の部・純資産の部合計		12,939,799,432	12,862,182,501	13,212,601,332

注) 平成26年は、平成27年度様式に準じ組替を行った。

②収支計算書

ア.資金収支計算書 三ヵ年比較

(資金収入の部)

(単位:円)

科目	26年度	27年度	28年度
学生生徒等納付金収入	1,634,547,352	1,680,814,020	1,680,523,930
手数料収入	49,354,100	46,420,900	45,655,900
寄付金収入	4,448,220	6,241,413	4,024,005
補助金収入	787,190,601	801,355,614	783,938,892
国庫補助金収入	113,275,000	103,996,000	106,404,000
地方公共団体補助金収入	673,915,601	697,359,614	677,534,892
資産売却収入	0	0	56,148
付随事業・収益事業収入	108,808,441	107,218,984	89,981,108
受取利息・配当金収入	2,949,649	3,068,873	2,947,751
雑収入	90,207,801	155,644,430	140,340,159
借入金等収入	0	0	300,000,000
前受金収入	338,531,363	318,029,863	330,273,864
その他の収入	1,297,806,763	1,333,906,200	1,452,829,697
資金収入調整勘定	△ 439,566,996	△ 455,316,625	△ 447,375,789
前年度繰越支払資金	1,268,945,874	1,367,750,387	1,283,686,365
資金収入の部合計	5,143,223,168	5,365,134,059	5,666,882,030

(資金支出の部)

(単位:円)

科目	26年度	27年度	28年度
人件費支出	1,501,949,649	1,595,075,078	1,557,932,417
教育研究経費支出	553,365,188	566,304,392	476,245,165
管理経費支出	280,259,387	308,290,289	266,478,230
借入金等利息支出	16,511,630	14,489,910	12,468,190
借入金等返済支出	144,440,000	144,440,000	144,440,000
施設関係支出	53,214,724	172,578,551	115,227,144
設備関係支出	54,415,770	32,401,870	31,713,959
資産運用支出	83,664,487	47,516,959	36,019,764
その他支出	1,294,656,032	1,358,287,890	1,474,934,072
(予備費)			
資金支出調整勘定	△ 207,004,086	△ 157,937,245	△ 169,705,680
翌年度繰越支払資金	1,367,750,387	1,283,686,365	1,721,128,769
資金支出の部合計	5,143,223,168	5,365,134,059	5,666,882,030

注)平成26年は、平成27年度様式に準じ組替を行った。

イ.活動区分収支資金計算書 三ヵ年比較

(単位:円)

科 目		26年度	27年度	28年度
教育活動による資金収支	収入			
	学生生徒等納付金収入	1,634,547,352	1,680,814,020	1,680,523,930
	手数料収入	49,354,100	46,420,900	45,655,900
	特別寄付金収入	4,000,000	4,530,053	2,664,005
	一般寄付金収入	448,220	1,711,360	1,360,000
	経常費等補助金収入	780,596,601	799,930,614	781,040,892
	付随事業収入	108,808,441	107,218,984	89,981,108
	雑収入	90,207,801	155,500,330	140,140,285
	教育活動資金収入計	2,667,962,515	2,796,126,261	2,741,366,120
	支出			
人件費支出	1,501,949,649	1,595,075,078	1,557,932,417	
教育研究経費支出	553,365,188	566,304,392	476,245,165	
管理経費支出	280,259,387	307,614,828	266,162,280	
教育活動資金支出計	2,335,574,224	2,468,994,298	2,300,339,862	
差引	332,388,291	327,131,963	441,026,258	
調整勘定等	20,098,221	△ 75,558,225	12,008,470	
教育活動資金収支差額	352,486,512	251,573,738	453,034,728	
科 目		26年度	27年度	28年度
施設整備等活動による資金収支	収入			
	施設設備補助金収入	6,594,000	1,425,000	2,898,000
	施設整備等活動資金収入計	6,594,000	1,425,000	2,898,000
	支出			
	施設関係支出	53,214,724	172,578,551	115,227,144
	設備関係支出	54,415,770	32,401,870	31,713,959
	施設設備引当特定資産繰入支出	0	12,368,980	4,450,864
施設整備等活動資金支出計	107,630,494	217,349,401	151,391,967	
差引	△ 101,036,494	△ 215,924,401	△ 148,493,967	
調整勘定等	22,323,758	△ 29,898,427	△ 1,499,784	
施設整備等活動資金収支差額	△ 78,712,736	△ 245,822,828	△ 149,993,751	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	273,773,776	5,750,910	303,040,977	
科 目		26年度	27年度	28年度
その他の活動による資金収支	収入			
	借入金等収入	0	0	300,000,000
	有価証券売却収入	0	0	56,148
	退職給与引当特定資産取崩収入	0	12,368,980	4,450,864
	修学旅行費預り資産からの繰入収入	32,684,990	35,251,183	35,147,979
	預り金受入収入	976,987,056	1,084,082,059	1,190,110,208
	仮払金回収収入	1,700,880	2,394,220	3,761,880
	立替金回収収入	56,218,833	55,355,211	42,868,059
	修学旅行費預り金受入収入	57,256,865	61,520,559	60,140,875
	小計	1,124,848,624	1,250,972,212	1,636,536,013
	受取利息・配当金収入	2,949,649	3,068,873	2,947,751
	過年度修正収入	0	144,100	199,874
	その他の活動資金収入計	1,127,798,273	1,254,185,185	1,639,683,638
	支出			
	借入金等返済支出	144,440,000	144,440,000	144,440,000
	差入保証金繰入支出	0	0	365,000
	退職給与引当特定資産繰入支出	2,413,304	0	0
減価償却特定資産への繰入支出	46,000,000	0	0	
修学旅行費預り資産への繰入支出	35,251,183	35,147,979	31,203,900	
預り金支払支出	945,795,544	1,029,412,023	1,206,163,713	
立替金支払支出	55,964,323	55,816,761	42,621,424	
仮払金支払支出	1,700,880	2,394,220	3,761,880	
修学旅行費預り金支払支出	54,690,672	61,623,763	63,942,154	
小計	1,286,255,906	1,328,834,746	1,492,498,071	
借入金等利息支出	16,511,630	14,489,910	12,468,190	
過年度修正支出	0	675,461	315,950	
その他の活動資金支出計	1,302,767,536	1,344,000,117	1,505,282,211	
差引	△ 174,969,263	△ 89,814,932	134,401,427	
調整勘定等	0	0	0	
その他の活動資金収支差額	△ 174,969,263	△ 89,814,932	134,401,427	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	98,804,513	△ 84,064,022	437,442,404	
前年度繰越支払資金	1,268,945,874	1,367,750,387	1,283,686,365	
翌年度繰越支払資金	1,367,750,387	1,283,686,365	1,721,128,769	

注) 平成26年は、平成27年度様式に準じ組替を行った。

ウ.事業活動収支計算書 三ヵ年比較表

(単位:円)

	科目	26年度	27年度	28年度
	学生生徒等納付金	1,634,547,352	1,680,814,020	1,680,523,930
	手数料	49,354,100	46,420,900	45,655,900
	寄付金	8,825,669	6,866,557	7,577,201
	経常費等補助金	780,596,601	799,930,614	781,040,892
	国庫補助金	106,681,000	102,571,000	103,506,000
	地方公共団体補助金	673,915,601	697,359,614	677,534,892
	付随事業収入	108,808,441	107,218,984	89,981,108
	雑収入	90,277,801	155,500,330	142,161,149
	教育活動収入計	2,672,409,964	2,796,751,405	2,746,940,180
	人件費	1,504,362,953	1,582,706,098	1,555,502,417
	教育研究経費	755,642,478	775,926,342	695,733,881
	管理経費	300,948,922	329,806,996	289,002,400
	徴収不能額等	709,175	191,000	145,242
	教育活動支出計	2,561,663,528	2,688,630,436	2,540,383,940
	教育活動収支差額	110,746,436	108,120,969	206,556,240
	受取利息・配当金	2,949,649	3,068,873	2,947,751
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	2,949,649	3,068,873	2,947,751
	借入金等利息	16,511,630	14,489,910	12,468,190
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	16,511,630	14,489,910	12,468,190
	教育活動外収支差額	△ 13,561,981	△ 11,421,037	△ 9,520,439
	経常収支差額	97,184,455	96,699,932	197,035,801
	資産売却差額	0	0	56,099
	その他の特別収入	6,594,000	2,065,900	3,097,874
	特別収入計	6,594,000	2,065,900	3,153,973
	資産処分差額	8,053,899	2,158,627	4,573,780
	その他の特別支出	0	675,461	315,950
	特別支出計	8,053,899	2,834,088	4,889,730
	特別収支差額	△ 1,459,899	△ 768,188	△ 1,735,757
	(予備費)			
	基本金組入前当年度収支差額	95,724,556	95,931,744	195,300,044
	基本金組入額合計	△ 56,796,037	△ 218,419,835	△ 127,718,294
	当年度収支差額	38,928,519	△ 122,488,091	67,581,750
	前年度繰越収支差額	△ 2,267,197,305	△ 2,228,268,786	△ 2,350,756,877
	基本金取崩額	0	0	0
	翌年度繰越収支差額	△ 2,228,268,786	△ 2,350,756,877	△ 2,283,175,127
(参考)				
	事業活動収入計	2,681,953,613	2,801,886,178	2,753,041,904
	事業活動支出計	2,586,229,057	2,705,954,434	2,557,741,860

注)平成26年は、平成27年度様式に準じ組替を行った。

(3) 主な財務比率比較

比 率	算 式(×100)	26年	27年	28年
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	3.6%	3.4%	7.1%
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$	98.5%	104.7%	97.4%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	3.6%	3.5%	7.2%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{事業活動収入}}$	60.9%	60.0%	61.0%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{事業活動収入}}$	56.1%	56.5%	56.5%
人件費依存度率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	92.0%	94.2%	92.6%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{事業活動収入}}$	28.2%	27.7%	25.3%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{事業活動収入}}$	11.2%	11.8%	10.5%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	190.9%	188.6%	227.9%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	17.2%	15.5%	16.6%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総資産}}$	85.4%	86.6%	85.8%

(4)借入金の状況

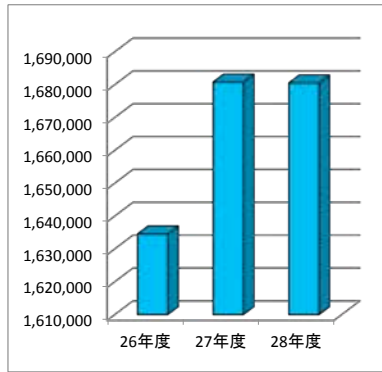
(単位:円)

借入先	借入金残額
日本私立学校・振興共済事業団	818,530,000
七十七銀行	200,000,000
三菱UFJ信託銀行	100,000,000
計	1,118,530,000

■グラフによる資料 (単位:千円)

1. 学生生徒納付金

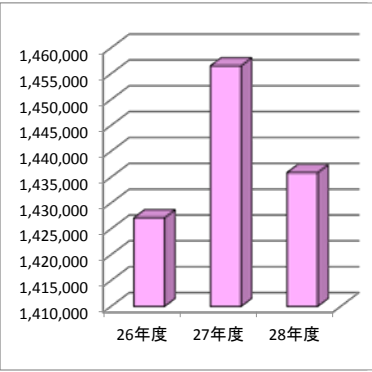
(資金収支: 学生生徒納付金収入)



	26年度	27年度	28年度
学生生徒納付金収入	1,634,547	1,680,814	1,680,524

2. 人件費

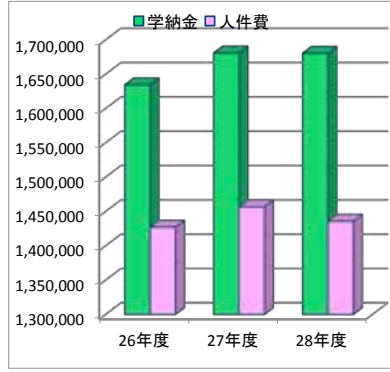
(資金収支: 人件費-退職金は除く)



	26年度	27年度	28年度
人件費	1,427,171	1,456,554	1,435,903

3. 学生生徒納付金対人件費

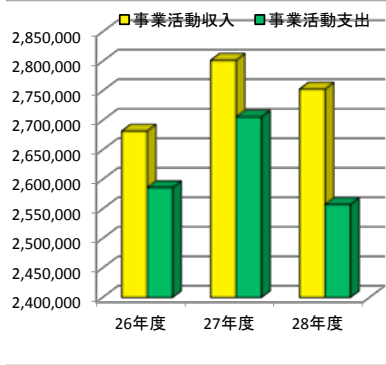
(学納金、退職金を除く人件費支出)



	26年度	27年度	28年度
学納金	1,634,547	1,680,814	1,680,524
人件費	1,427,171	1,456,554	1,435,903

4. 事業活動収入(基本金組入前)と支出

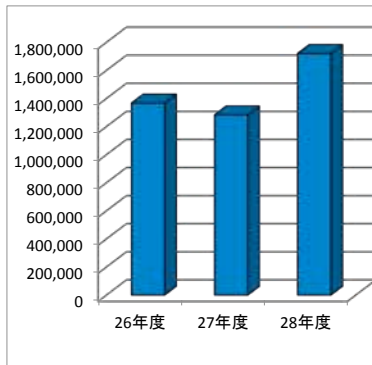
(事業活動収支計算書)



	26年度	27年度	28年度
事業活動収入	2,681,953	2,801,886	2,753,042
事業活動支出	2,586,229	2,705,954	2,557,742

5. 手持ち支払資金

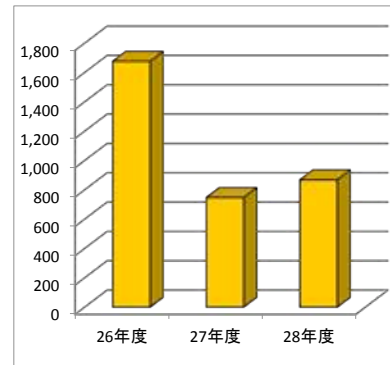
(資金収支: 翌年度繰越支払資金)



	26年度	27年度	28年度
翌年度繰越支払資金	1,367,750	1,283,686	1,721,129

6. 学生生徒納付金の未収額

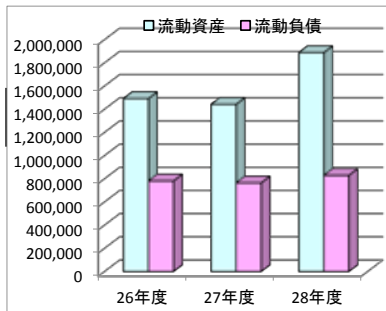
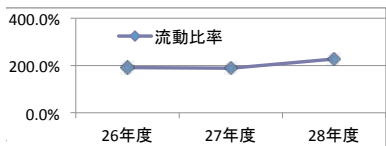
(学納金関係・期末未収入金)



	26年度	27年度	28年度
学納金の未収	1,677	748	869

7. 流動比率

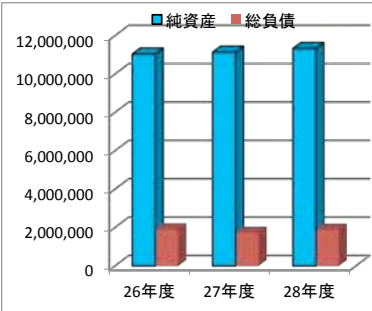
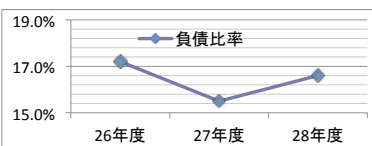
(貸借対照表: 流動資産、流動負債)



	26年度	27年度	28年度
流動比率	190.9%	188.6%	227.9%
流動資産	1,492,492	1,442,745	1,889,208
流動負債	781,718	764,978	830,129

8. 負債比率

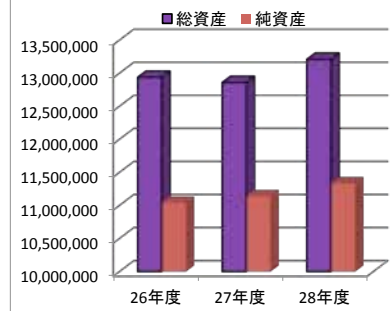
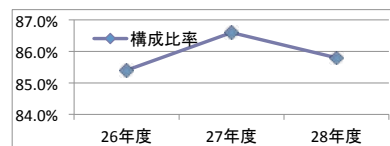
(貸借対照表: 純資産、総負債)



	26年度	27年度	28年度
負債比率	17.2%	15.5%	16.6%
純資産	11,044,781	11,140,712	11,334,521
総負債	1,895,019	1,721,470	1,877,730

9. 純資産構成比率

(総資産、純資産)



	26年度	27年度	28年度
構成比率	85.4%	86.6%	85.8%
総資産	12,939,799	12,862,182	13,212,251
純資産	11,044,781	11,140,712	11,334,521